

【中学校国語】

中学校
国語

本市の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題(A)

「話すこと・聞くこと」の平均正答率
 ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「書くこと」の平均正答率
 ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「読むこと」の平均正答率
 ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「言語事項」
 ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

主として「活用」に関する問題(B)

「書くこと」の平均正答率
 ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「読むこと」の平均正答率
 ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

今回の調査における課題

効果的なスピーチをするために話し方を工夫すること。

主語（主部）に対応させて述語（述部）を適切に書くことや、資料に表れている工夫を自分の表現に役立てたりすること。

短歌の形式に従って意味のまとまりをつかんだり、詩の表現の仕方に注意して内容を読み取ったりすること。

文脈に則して漢字を正しく書いたり、語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使ったりすること。

改善の方向

自分の考えや気持ちが相手に伝わるように、聞き手の反応を評価しながら効果的に話したり、目的や場面に応じて話し方を工夫したりする指導の充実。

文の成分の順序や照応を意識して記述させたり、必要な情報を集め、相手の立場を考えて、自分の意見が効果的に伝わるよう工夫して書いたりする指導の充実。

文章の展開に即して内容をとらえ、目的や必要に応じて要約したり、表現の仕方や文章の特徴に注意して読んだりする指導の充実。

事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めたり、漢和辞典などを活用し、語彙を豊かにしたりする指導の充実。

国語		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
分類	区分	全国との比較(A)	全国との比較(B)	全国との比較(A)	全国との比較(B)	全国との比較(A)	全国との比較(B)
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	△	ほぼ同程度	△
	書くこと	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	読むこと	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	言語事項	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	△
問題形式	選択式	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	短答式	ほぼ同程度	上回っている	ほぼ同程度	△	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	記述式	ほぼ同程度	ほぼ同程度	△	ほぼ同程度	△	ほぼ同程度

「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲内。